

牛嶋神社祭礼2026

2026年9月20日 | 東京都墨田区・亀沢周辺



2026年9月20日、墨田区の牛嶋神社の祭礼。雨に濡れた通りを、白い半纏の人々と神輿が進みます。写真に残る亀沢の町の風景を、提灯や装飾、道すがらの小さな場面からたどります。

牛嶋神社と、祭りのまち



牛嶋神社は墨田区向島に鎮座する、本所の総鎮守です。[1] 祭礼の風景は町にも広がります。2026年9月20日の亀沢・石原地区の連合渡御には、亀沢三丁目・亀沢四丁目・石原三丁目が参加しました。[2] 今回の写真には「亀沢三丁目」の提灯が写っています。

町角から始まる祭り



町角に立つ青いのぼりと緑のテント。そばには、雨よけをかけた神輿が置かれています。建物や電線のあるいつもの通りに、祭りの色が加わる。境内だけでは見えない、町の祭礼の一場面です。

提灯がつなぐ、町の名



高く掲げられた提灯には「亀沢三丁目」の文字。赤い紋と白い紙垂が、建物の間に浮かびます。提灯にも透明な覆いがかかり、雨の中で町の名を伝えています。

神輿と歩く、いつもの通り



神輿を追って白い半纏の列が続き、歩道には傘を差して見守る人たち。広い祭り会場とは違う、建物のすぐそばを
行く近さがあります。町の暮らしと祭礼が、ひとつの通りで重なります。

肩を寄せて、神輿を支える



肩にのせる担ぎ棒



棒を支える手



並んで進む足元



大きな神輿を、みんなで運ぶ

— 06

近くで目を引くのは、肩にのる太い担ぎ棒と、それを支える手です。大きな神輿の下には、並んで進む人々の足元がある。華やかな装飾を支える動きにも、祭りの表情が見えてきます。

神輿を彩る、金と紫

まちの
祭り歳時記

07

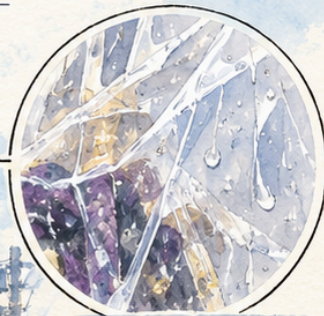
神輿を彩る、金と紫

—— 近くで見つける祭りの細部 ——



金色の装飾

黒い屋根に映える
金色の装飾が、
神輿を華やかに
彩ります。



透明な雨よけ

全体を覆う透明な
雨よけで、大切な神輿を
雨から守っています。



紫の組みひも

太く美しい紫の組みひもが
神輿をしっかりと
飾っています。



木の担ぎ棒

太く丈夫な木の担ぎ棒で
神輿を担ぎ、
まちを練り歩きます。

雨のまちに、
祭りの光。

07

黒い屋根に映える金色の装飾、太く結ばれた紫の組みひも、長く伸びる木の担ぎ棒。透明な雨よけの越しにも、それぞれの色と形が見えます。全体を眺めた後は、細部にも目を向けたくくなります。

雨の日にも、祭りの色



灰色の空の下では、白い半纏や淡い色の傘がよく目立ちます。神輿と提灯を包む透明な覆い、濡れた路面の光。雨の日ならではの色合いも、この日に撮られた祭りの記憶です。

ひと息つく、町のテント



撮影の途中には、テントの下に並ぶ水のボトルと、串に刺したきゅうりも写っていました。神輿を担ぐ場面だけでなく、こうした休憩の風景にも町の祭りらしさがあります。

祭りの余韻、町に残る



提灯の色、神輿の輝き、雨に濡れた町並み。写真に残った午後の場面をたどると、祭りが地域の日常の中にあることが伝わってきます。牛嶋神社の祭礼を、町の風景として味わう一冊です。

[1] 墨田区観光協会「牛嶋神社」

[2] すみだ経済新聞「牛嶋神社の祭礼」(2026年9月20日)